



はしか(麻疹)の予防接種をうっていますか？



はしか(麻疹)は、「命定めの病」と呼ばれ、昔は子どもの命を奪う疾患として広く恐れられていました。また、教室や体育館などの閉鎖空間で、はしかの患者さんが一人いると、同じ空間にいて、免疫のない人(予防接種をうっていない人、はしかにかかっている人)は、90%の確率で発症すると言われるぐらいの強い感染力を持っています。

今年に入り、福岡県でははしかの発症(R7.9.7時点で21名)がみられています。かかると症状がひどい病気ですが、予防接種で予防できる病気でもあるので、お子さんが予防接種を受けたかどうかを確認してみてください。なお、お子さんだけでなく、保護者の皆様もご自身の予防接種を確認してみてください。

①麻しんの罹患の既往は確実ですか？
(不確かな場合は罹患していなかったものとする)

YES

麻しんに対する免疫を持っているものと考えられます。

NO

②予防接種を2回確実に受けていますか？
(不確かな場合は予防接種を2回は受けていないものとする)

YES

麻しんに対する免疫を持っているものと考えられます。

NO

③予防接種を1回は確実に受けていますか？
(不確かな場合は予防接種は受けていないものとする)

YES

以下のいずれかを選択してください。
◎2回目の予防接種を受ける。
◎医療機関で麻しんに対する免疫を調べ、不十分な場合に2回目の予防接種を受ける。

NO

これまでに1回も予防接種を受けておらず、かつ麻しんに罹患していなかったことになります。

以下のいずれかを選択してください。

◎急いで1回目の予防接種を受ける。

○医療機関で麻しんに対する免疫を調べ、不十分な場合に予防接種を受ける。

その後は③の対応となりますが、麻しんの予防接種を2回続けて受ける場合、少なくとも1ヶ月以上の間隔をあける必要があります。

予防接種のスケジュールについて詳しくは医師に相談してください。

学校における麻疹ガイドライン(第二版) 国立感染症研究所感染症学センターより

ほけんしつ
保健室から「こんにちは」

実は20年以上前、私がはしかにかかりました。(3人兄弟の末っ子なので、予防接種を忘れられていました。)40度を超える熱が続き、全く飲食ができなくなるなど、壮絶な入院生活でした。そして、育休中だったのですが、我が子にうつしてしまい、親子で入院となりました。同じ思いはしてほしくないで、ぜひぜひ予防接種の確認をお願いします。